



音楽運動



日本音楽協会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3丁目10-15 富士ビル505号室 発行人 松本敏之
TEL 03-3221-1821 FAX 03-6369-3057 URL <http://nichionkyou.org> Email nichion@yomogi.or.jp

今後の音楽祭のあり方など議論 インターネットで全国代表者会議

日音協は7月4日、全国代表者会議をインターネット会議として開催しました。若手と沖繩が急用で欠席となり、12支部(幹事会メンバーによる出席を含む)と自治労音協、林音協、そして幹事会から22人が出席しました。

佐藤副会長を議長に選出したあと、松本会長があいさつ。

「感染症の拡大の中で、こういう形の開催になった。主として今年の音楽祭ができなかったこと、来年の音楽祭をどうやって開催するか、その先の音楽祭をどうやっていくかを議論していただきたい」

議題1 「第53回はたらくものの音楽祭を延期したことに関する総括」では延期せざるを得なかった経過を確認しました。

議題2 「第53回はたらくものの音楽祭の準備」では、来年の音楽祭を第53回として、開催候補地を絞って準備していくこととしました。また、再来年の音楽祭の開催地についても議論しました。

議題3 「音楽祭の現状と今後のあり方について」では、金田事務局長が提案して、議論しました。

【北海道】 平和、演奏をテーマに、ひとつの集約として音楽祭に向かいたい。ネックは旅費、経済的にきびしくなっている。

【秋田】 音楽祭は継続していく。ぜひ毎年やってほしいが、うちの県

でというところが現れなければ1年おきでもいい。いい演奏を聞かせたいとはいえず、会場の設備は論点になる。

【青森】 青森県支部は音楽祭とか北ブロックの合宿に足が遠のいている会員が多い。青森市での開催も相談したい。

【福島】 開催地が遠いと旅費が問題、首都圏なり東京で固定して開催してほしい。支部が地方連合や県平和フォーラムとの関係を強められるように中央も努力を。音楽祭出演者に一律の入場料を負担いただきたい。

【新潟】 音楽祭は必要、開催地は東京近郊に固定を。労組にスタッフを出していただかないと運営がでないのか。それぞれの支部、県でどういった活動をするのかが問われている。

【茨城】 茨城県支部は、最近では春闘の集会や老人ホームなど演奏の機会が増えている。労働歌や反原発の歌だけでは新しい仲間が増えない。一般の方にも馴染めるような歌を。入場料は難しい。

【千葉】 音楽祭は経費がかかるのは仕方ないが、派遣の仕事の仲間は万単位のお金は無理だという。京成には40代の人もいる。若い労働者にも歌ってもらえるような歌を探したり作ったりしたい。

【東京】 音楽祭は全国の仲間や労

組とのつながりを確認し、演奏に刺激を受ける。仲間内の発表会になっではないか。出演料は人数に応じたものにしては。「全身全霊で歌う姿は人の心をゆさぶる」。もっとも意識して一年間の成果を持ち寄ろう。宣伝活動も重要。東京近郊の開催固定は東京都支部では難しい。

【長野】 音楽祭を無くしてはいけない。歌、演奏のレベルアップが大事、新しい人を集めるにも。詩は、広がりがない言葉の羅列では聞く人の心に響かない。頑張って、いい歌を作ろう。

【富山】 音楽活動を続けてこれたのは音楽祭があったから、大切な場。ライブハウスで若い人たちが自分の思いを歌っている、つながることが課題。東京・関東地区を基本に。

【香川】 若い会員を作ることが本当に厳しい。総会に向けてもっと多くのメンバーと議論したい。

【自治労音協】 続けていくには若い人の参加が必要。名前の変更も検討を。滋賀音楽祭のスポットライトで演奏したジェリー・ヒーンズのよくな地元のバンドの参加は若い人も呼べるからいい。労働運動に若い人は熱くかわからない、しかし音楽活動にできることがある。

【林音協】 音楽祭がないと林野の活動そのものが難しい。今年は、林野の仲間が集まって音楽をつくる活動をしたい。続けるためには若い仲間をどんどんつくらなくてはならない。

【九州】 新しい人の参加がな

て、支部の存続が危ない。九州支部ができたのは音楽祭をしたから。組織の活性化には力になる。音楽祭の経費の推移を見ると先細りとは思えない。参加旅費の個人負担が厳しい。入場料を取る必要はない。ポストワー工夫して、経費の努力を。

【白石】 私鉄は総連の発文を受けて開催地の地連と一緒に取り組んできた。今回の千葉の中止を受け、組織的に丁寧にお話をして今後も繋がりを継続したい。

【松本会長】 続けていくことに大きな違いはない。若い人に広げられないという発言もあるが、もう一回歯を食いしばってがんばろうと、声を大にして言いたい。いただいた意見をもとに、各支部とキャッチボールしながら成案をつくる、引き続きのご議論を。

議題4 「当面の取り組みについて」では、各ブロック合宿や日音協ソングの募集、インターネット新しいうたの会などの取り組みを確認しました。

議題5 「日音協第57回定期総会の開催について」では、総会を11月14日(土)に開催することとして、東京都内で開催するかインターネット会議にするか、なお感染症の状況を見極めて判断することになりました。会員の状況や機関紙「音楽運動」についても議論しました。

翌5日には第6回幹事会をインターネット会議で開催して、全代会議を踏まえた今後の活動など議論しました。

日音協のインターネット音楽会2020(仮称)の開催

はたらくもののインターネット音楽祭の続編として、サークルの演奏(ライブ、集会、またはこのためにスタジオ等で演奏したもの)を動画で撮ったものを共有し、広めるための仕組みとして、日音協のインターネット音楽会2020(仮称)を、下記により立ち上げます。あわせて「フィンランディア」の合唱に取り組みます。

はたらくものの音楽祭が2020年に開催できないことになったことに代わるインターネットを活用した取り組みの第三弾、8月から12月までの取り組みと位置づけます。各支部、サークル等の積極的な応募をお願いいたします。

記

1、支部・サークル・個人等の演奏等の動画

- (1) 支部・サークル・個人等の演奏等の動画を日音協に送っていただき、日音協ホームページからYouTube上で公開します。
- (2) サークル・個人については、日音協の会員がひとり以上参加するものを想定していますが、日音協支部または日音協幹事会が推薦するものはその限りではありません。
- (3) 動画の内容は、演奏に限らず、演劇、演説なども可能とします。ただし、YouTubeの規定により公開が禁止されているものと、日音協幹事会が人権擁護の日音協の基本姿勢に反すると判断するものを除きます。
- (4) とくに、日音協ソング2019紹介曲4曲を積極的に支部、サークルで演奏して動画を寄せていただくように要請します。

- ① ありがとう 詩=津谷さつき 曲=桜庭智英
- ② 生きる 原詩=相良倫子 詩=笠木博逸
補詩=守谷明宏 曲=笠木博逸
- ③ 紙ひこうき 詩・曲=大嶋忠男
- ④ 隣の家 ウチの家 詩・曲=宮脇昌典

- (5) 時間の制限は設けません。
- (6) 日音協に動画が届き幹事会において準備ができ次第、順次公開していきます。

2、「フィンランディア」インターネット大合唱

- (1) 「フィンランディア」インターネット大合唱を企画・募集しますので、積極的な応募をお願いいたします。
- (2) はたらくもののインターネット音楽祭で「インターナショナル」大合唱を実現しましたが、これと同じような要領です。伴奏動画を準備中です。用意出来次第、ホームページからYouTube上で公開します。これにあわせて、4つのパートの好きなパートをうたって動画に収録していただきます。グループが集まって同時に収録してもいいです。楽器の演奏も歓迎します。
- (3) 「フィンランディア」インターネット大合唱の応募は、2020年9月22日までとします。その後、編集でき次第、公開いたします。

希望の歌(フィンランディア)

曲=ヤン・シベリウス 詩=林光

3 応募方法

- (1) 1、2とも、DVDなどの媒体か、電子ファイルとして、坂口副会長あて送ってください。
- (2) DVDなどの媒体を郵送する場合とデータ便などダウンロード先URLを指定する方法の場合は日音協事務所あても可能です。
事務所所在地 〒101-0061
東京都千代田区三崎町3丁目10-15富士ビル505号室
ファックス：03-6369-3057
インターネットメール：nichion@yomogi.or.jp
データ便：https://www.datadeliver.net

4 締切り

- (1) 支部・サークル・個人等の演奏等の動画
2020年12月31日(木)
締切りを待って動画を公開するのではなく、(6)に記したとおり準備ができ次第、順次公開していきます。また、2021年1月以後は、新しい企画を立ち上げる方向で検討しています。
- (2) 「フィンランディア」インターネット大合唱
2020年9月22日(火)

合宿、出来るかな？

9月の東北北ブロック合宿企画(案)検討中

新型コロナウイルスの大規模感染の二つ目の波が高くなりつつあるような報道のボリュームが大きくなっています。対策をとる政府のトンチンカンぶりは、半ば人災であるかのようですが、コロナ禍のなかに囚われている身にとっては、日に日に感染者の数が増えていることに不安を感じずにはいられません。日音協メンバーも日常的な感染対策を行いながら、感染の勢いを抑えていくことが肝心な世の中になっていますので、ご自愛くださいませ。

そんな状況ですが、新型コロナウイルスの感染対策とはいっても、そのことで活動が分断されたり、会員同士の情報交換ができなくなってしまうのは、音楽運動の動きを止めてしまうことになるので、合宿の企画と併せて、東北北ブロックの会員が情報交換をできる取り組みを検討することも必要かと思えます。

2020 東北北ブロック合宿の企画案

1 会場

施設名 美郷町宿泊交流館「ワクアス」

住所 019-1234 秋田県仙北郡美郷町飯詰字下鶴田 22-1

TEL 0187-88-8870

宿泊 洋室 4 室(定員 2 名 1 室、3 名 3 室)
和室 10 室(定員 4 名)

料金 大人:3,240 円~4,240 円(1 人 1 泊
分税込)

小人:2,700 円~3,670 円(1 人 1 泊
分税込)

URL

<http://akita-misato.com/stay/wakuasu/>

アクセス(詳細略)

※9月19日(土)~21日(祝・月)で会場は予約済み。(感染状況によってワクアスから提供不可の場合も想定されます。)

2 感染防止対策的なこと

①消毒用アルコールの配置(会場入口・グループ活動毎に) ②マスクが常時着用 ③共用使用機材の消毒(使用者が交代する毎にアルコールで拭き取り) ④合唱練習(大きい声を出すことが求められるので、慎重な対策が必要です。パート練習はパート毎に別室で。お互いに両手間隔で離れる。パートリーダーを選び、リーダーは暗譜して練習をリードする。全体合唱は広い会場で互いに両手間隔で)

⑤食事は対面型にならないように工夫して座る。会話は小さな声で ⑥懇親会&参加者コンサート(懇親会は開くが大きな声をださない。コンサート観客はマスク着用、使用したボーカルマイクは都度消毒) ⑦宿泊部屋は定員の半分で運用する。⑧その他 3 カリキュラムについて(あくまでも企画のたたき台です。)

●音響関係座学及び操作体験

①音響機材の解説及び接続についての座学

マイクから入った音がスピーカーからでるまでに通る機材の性能や解説と接続時の注意などを(講師は藤原さん)

機材と機材の結線図を基に

#マイク→マイクの種類・性能・使用方法・接続時の注意など

#マイクコード→ピン・キャノンなど接合部の解説、使用方法

#ダイレクトボックス→#マルチケーブル→#ディレー/ #エコー/ #エフェクター/ #ミキサー/ #パワーアンプ/ #メインスピーカー/ #モニターアンプ/ #スピーカーコード/ #その他

②結線から音だしまでの手順

#結線の確認/ #ハウリングチェック

③機材の取り扱い体験

#ミキサーの操作/ #シールド巻き/ #ハウリングチェック/ #ディレー/ #エコー/ #エフェクター (※機材の操作体験は演奏の実演で)

●創作 曲づくり・歌詞づくり・演奏づくり・歌づくり

<1>曲作りと歌詞づくりはセットで取り組むことがいいかと思いますが、毎年中途半端に終わっているような感じです。創作曲持参で完全個人作業を行うための参加もあるようです。創作活動に寄せる思いもバラエティーに富んでいると思いますが、歌詞まとめなくても、職場で抱えている問題意識や政治・社会への批判、生活のなかでのエピソードなどなど、24時間丸ごとの中から切り取った言葉(ワード)を集めるなど、コンセプトをもう少しだけはっきりさせた呼びかけができればいいかなと思います。創作活動は個人作業が主流だと思いますが、ディスカッションから産まれた言葉をつなぎ合わせて歌詞にまとめたり、メロディーを作ったりするグループでの創作も日音協の作風かなと思います。従って、参加者はこの間(ここ数日もしくは数ヶ月あるいは1年)に、見たり・聞いたり・感じたりして心に残っているエピソードや言葉を持ち寄ることを提案します。

<2>演奏づくりと歌づくりはセットで取り組むことがいいかと思いますが、多種多様な表現の形態があるので、どういった形がいいか悩みの深いところです。演奏づくりは、参加者が持参する楽器で編成するユニットでの演奏とボーカル、ソロでの演奏とボーカルの形態で取り組まれているが、ユニットで演奏する場合には、編成予定のユニットにリーダーを設定し、事前に選曲しアレンジや演奏のイメージを持ち持ち込むというような創作に対する意識と演奏の質を少しだけ上げる取り組みに挑戦することの検討を提案します。

●柔軟体操、発声練習、合唱練習

<1>若くない参加者が多い合宿なので、なにごともしいきなり全力を出すのは事故のもとです。発声練習前の10~15分を柔軟体操にあて、体の無駄な力を抜くことが大事なかなと思います。ストレッチを指導できる参加者がほしいですね。

(5面につづく)



明日戦争が始まる

詩=宮尾節子
曲=坂口美日

ふしぎな作曲

Am F C E7
まいにち まいにち 満員電車に乗ってひ

Am E7
とをひととも おもわなくなつた

Am F C E7
インターネットの書きこみを見てこ

Am E7
ころをこころとも おもわなくなつた

F E E7 C
虐待死や自殺の頻発にいのちを

E7 Am E Am G
いのちをおもわなくなつた じゅんぴはバ

E7 Am F Ab G
ツチリだせんそうをせんそうとおもわなくなるた

Cm G Cm Ab
めに あしたせんそうがせ

Gm G Cm (繰り返す毎に小さく) Cm ff (大きく)
んそうがはじまるる あしたせ

Ab Eb Ebaug Cm Cm
んそうがせんそうがはじまる あしたせ

Ab Eb Ebaug Cm
んそうがせんそうがはじまる

音楽運動4月号に「曲をつけてみませんか?」と呼びかけて、この詩を掲載していただきながら、自分はなかなか作曲が進まずにいました。辛辣な詩だからこそメジャーな曲調にしたいという構想を持ちながら、サビあたりでの挫折を繰り返していたのです。

ところが先日、一人長距離運転中に雨が降ってきてワイパーをかけると、ワイパーのリズムと共にこの詩とメロディーが同時に浮かんできて一気に最後まで完成するという不思議なことが起きました。

歌い出しから思いっきりマイナーですが、これが私のこの詩に対する変えようのないイメージなのだと悟りました。それを無理にメジャーにしようとしたから最後まで完成しなかったのだと、自分のことをよくわかっていなかったことを今回の作曲を通して良くわかりました。作曲って不思議ですね。(坂口)

<2>大きな声を出すことになるので、参加者が十分な間隔をとれるように工夫することが大切です。天気が良ければ野外で練習するのもありですね。

<3>合唱曲名「 」 「 」
常任指揮者 天羽憲治 副指揮者 大嶋忠男

<4>「飛ぶ橋」は…

●楽譜書き方読み方講座(座学)

楽譜は創作から演奏づくりまでどの場面でもなくはないものです。手書きや音楽ソフトを使った楽譜を起こすメンバーが増えています。松本会長からすると、楽譜の書き方の自己流が過ぎる作品が多いとのことで、「音楽運動」に楽譜の書き方について3回に渡って掲載しています。創作の入り口はディスカッションにあるとしても、作品にとりまとめるには楽譜がなければ成立しないわけですので、コード進行やメロディーづくりの前の段階で書き方と読み方の講座があってもいいかと思えます。

(講師は松本会長)

●おとらく夜話会(コンサートのことですが)

ライブハウスでのクラスター発生がニュースになりましたので、開催は全国及び東北地域の感染者の発生状況を考慮して対応する。会場設営は少数で

マスク着用して行う。演奏スペースと観客スペースを最低2mは空ける。観客はマスクを着用。観客は左右前後1m程度離れて座る。

おとらく夜話会へのエントリーは遅くてもコンサート当日の朝食時までに行う。

4 合宿運営スタッフ配置

合宿運営班 任務は合宿の事前準備から運営全般の仕切り。班長は互選。多種兼務あり。

青森県支部、岩手県支部、秋田県支部

準備・任務など

■合宿カリキュラム・スケジュールの作成 / ■音響機材借用準備 / ■合宿参加呼びかけ / ■合宿参加者集約 / ■参加者交通手段の確認 / ■食事とりまとめ / ■宿泊部屋割り当て / ■班活動・持参楽器とりまとめ / ■会計担当 / ■当日(音響機材セットから音だし) / ■当日(受付・参加費徴収) / ■当日オリエンテーションの司会 / ■当日(オリエンテーション施設の説明及び合宿生活上の諸注意) / ■当日(司会・進行)

(※主幹の秋田県支部からの「たたき台」です。)

歌の力が物語るもの 90

官邸前反原発行動 7/10 (3033回) 報告 R.i.o

【参加者】 ようこ、イサさん、モリヤさん、望月、坂口、森 計6名

雨が降ったりやんだり。出かけようとしたらまた降り出したので、アコーデオンは置いていくことにした。

時間に少し遅れて菜葉坂に着くと、ようこさんがモリヤさんのギターで『香港に栄光あれ』を歌っていた。イサさんは鈴を鳴らしている。イサさんとモリヤさんは経産省前へ官邸

前の行動にいつも参加しているが、いま反原連はネット配信を中心としていて、一般参加者を求めないため、菜葉坂に立ち寄ってくれたそうだ。イサさんは先日の防衛省前の行動の際、

達哉に「金曜日には菜葉坂でお会いね」と誘われていた。誘った達哉はちゃっかりお休みだ。

モリヤさんは曰うたの曲が中心だが、日音協のうたも知っててくれる。『あたりまえの地球』を、コードを迷いながらも伴奏してくれた。そして『座り込めこころ』『沖繩今こそ立ち上がろう』。この2曲はこの行動の中でも欠かせない曲だ。そして続けて『ジュゴンのすむ海』を弾いてくれた。

望月さんが、木更津にオスプレイが2機飛来したことを話してくれた。抗議行動に参加してきたそうだ。では、と、モリヤさんが『オスプレイ帰れ』という歌を教えてくれて、みんな

で歌った。お互いが知っている曲を探しながら歌う。『月桃』『私たちは許さない』『風車の唄』…。そして、締めめの曲に選んだのは『声よ集まれ歌となれ』だった。これは朝鮮高校が無償化対象から外された、その抗議行動の中で歌われている曲で、作者は朝鮮大学校学生合作となっている。

どれだけ叫べばいいのだろう奪われ続けた声がある聞こえるかい？聞いているかい？怒りが今また声となる聞こえないふりに傷ついてかすれる叫びはあてどなく一人の声では届かない

米国での、黒人男性が警察官に殺されたことへの抗議が世界中に広がっている。その報道

水道橋だより

▼4面、5面に2020東北北ブロック合宿の企画案(まだ事務局レベル)を掲載しました。▼このコロナ禍の中、開催を見送るにせよ、開催するにせよ、こういう対策や準備の議論をしたんだということ、後日検証するために、読者の皆さんとも共有したいとの思いです。全国で、世界で、「どんな行動をとっていくのか」が問われていると思います。▼ある報道番組では、「陽性の感染者が陰性に回復したけれども、まだ後遺症に苦しんでいる。コロナを甘くみてはいけません。」と訴えていました。▼「劇団四季」を追った番組では、発声時の飛沫の動きを確認したりして、客席の前列何列かは立入禁止にして公演したが、感染者が出て公演中止となった。あのステージの密状態では…。▼「劇団員に感染の覚悟をもってやれということか」との問いに、「公演しないと経営が成り立たない。やってみよう。」という社長。▼医療、スーパー、コンビニ、…自分の職場の状況はどうなっているだろう。▼とうとう岩手にも2名の感染者が。▼みんなと相談して動きを創りたい。(佐藤)



7/10 木更津基地に飛来したオスプレイ1機(平和フォーラムHPより)

の中、街角でインタビューを受けた若者が「日本には人種差別がないから実感が無い」と答えていた。それを聞いた時の驚きと怒りがよみがえる。かすれるほどの叫びを聞くこととしないこの国の差別的常態化よ！都知事選で在特会の桜井誠が18万票を得て5位につけたことも衝撃だった。原発のことも辺野古のことも、少数者を踏みつけにすることを厭わない政治がまかり通っている。そしてそれを批判無く受け入れていく人々がいる。私たちはどう歌えばいいのか、どう訴えればいいのか。連帯だけでなく、主体となって。

どん行

(133)

飯島貞親

イヤになつてしまつたのではないかと。そんなことが教育現場で繰り返されるのは何も生み出さない。

▼新型コロナウィルス感染拡大中の3月、東京都立学校253校(当時)すべての卒業式で「君が代」が斉唱されていた。同月2日から全国一斉休校となり、飛沫感染を懸念する学校もあったが、実施を求めた都教委の指示に従っていた。都教委は「感染状況が現在ほどひどくなかったら、適切に教育課程を実施するため指示した。時間短縮や参加者制限などの環境も整え適切だった」と説明している。▼思想・信条の自由から「君が代」斉唱時に起立しない教職員に都教委は問答無用で処分を続けてきた。何百人も懲戒処分を繰り返してきた結果が現場の萎縮を生み、まともな判断ができない思考停止状態に陥っている。▼健康や命より「君が代」優先で、まるで旧日本軍と同じ行為に見える。「天皇家の永続」を願う「君が代」は、教育勅語とともに「大日本帝国」下の軍国主義教育に採り入れられたという事実がだんだんと風化している。▼「君が代」が卒業式にふさわしいかどうかの論争は堂々巡りのようだが、音楽なのだから「好き嫌い」で決めて欲しいもの。嫌いな曲を強制的に歌わせられたら、生徒は歌う行為そのものまでイヤになつてしまつたのではないかと。そんなことが教育現場で繰り返されるのは何も生み出さない。